

高橋 雄造 著 元NHK放送博物館館長・中田 薫 氏 推薦

ラジオの歴史 工作の〈文化〉と電子工業のあゆみ

A5 判上製 402 頁 定価 (本体 4800 円+税) ISBN 978-4-588-37117-2 C0021

電子立国日本の原点に、工作の〈文化〉があった！ 歴大な史料を博搜し、インタビューを重ねて、ラジオ工作少年やフリーランサーの技術者、中小の部品メーカーなどを主人公に、日本のラジオ、テレビ、オーディオの歴史をあとづける。本書は、アマチュア精神へのオマージュであり、収録された457点の写真・図版は、それだけで「ラジオ博物館」の趣をなす。

■ 主要目次

第 I 部 ラジオの初めからテレビ普及まで (第 1 章 電波の発見、無線電話、真空管の登場、放送の開始/間章 1 ラジオ雑誌の系譜 I / 第 2 章 日本におけるラジオ放送開始とラジオ雑誌/間章 2 ラジオ雑誌の系譜 II / 第 3 章 日本のラジオ工業のあゆみ/間章 3 山中電機の足跡/第 4 章 日本のテレビと受像機工業/間章 4 ポータブルラジオの白砂電機)

第 II 部 ラジオ工作とラジオ工業の諸相 (第 5 章 ラジオ・エレクトロニクス技術通信教育の歴史/間章 5 神田・秋葉原の電気街/第 6 章 ラジオ・テレビと修理技術/間章 6 unofficial な研究グループ/第 7 章 オーディオ愛好家と日本オーディオ協会/間章 7 東京大学の「電気相談部」/第 8 章 トランジスターラジオ輸出とロックンロール/間章 8 戦争、政治とラジオ・テレビ/第 9 章 ラジオ工作と unofficial なセクターの役割/間章 9 文芸に見るラジオ、女性とラジオ) 史料・文献/索引



■ 著者：高橋雄造 (たかはし ゆうぞう)

東京に生まれる。東京大学工学部電子工学科卒業。同大学大学院博士課程修了。工学博士。中央大学勤務を経て、2008年3月まで東京農工大学教授。日本科学技術史学会会長。1975-77年、西ドイツ(当時)アレクサンダー・フォン・フンボルト財団給費研究員としてミュンヘン工科大学に留学。1991-92年、米国ワシントン DC のスミソニアン国立アメリカ歴史博物館に留学。1996年に博物館学芸員資格を取得。専門は高電圧工学、技術史、博物館学。

著訳書に、『博物館の歴史』(法政大学出版局、2008年)、『ミュンヘン科学博物館』(編著、講談社、1978年)、『てれこむノ夜明け——黎明期の本邦電気通信史』(共編著、電気通信調査会、1994年)、『ノーベル賞の百年——創造性の素顔』(共同監修、ユニバーサル・アカデミー・プレス、2002年)、『岩垂家・喜田村家文書』(監修、創栄出版、2004年)、『百万人の電気技術史』(工業調査会、2006年)/『電気の歴史——人と技術のものがたり』(東京電機大学出版局、2011年)、『静電気がわかる本』(工業調査会、2007年)/『静電気を科学する』(東京電機大学出版局、2011年)、R. S. コーワン『お母さんは忙しくなるばかり』(訳、法政大学出版局、2010年)などがある。

----- 切り取って最寄りの書店にお渡し下さい -----

〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-7 法政大学出版局 TEL 03-5214-5540 / FAX 03-5214-5542

注 文 書	ラジオの歴史 (冊)	書店名・ 番線
	ISBN 978-4-588-37117-2 C0021 定価 5040 円 (本体 4800 円+税)	
	お名前: _____	
	お住所: _____	
	お電話: _____	